

O-kuma認知症ケアサポート通信

3つのロックとケアのポイント



こんにちは！DST委員会です。
認知症予防で学んだことを
少しずつ提供できればと思い始めました。
みなさんの疑問や関心に応えていきたいと
思います。
ぜひお読みいただければ嬉しいです！



三つのロックの身体拘束を最小化するには…

①三原則アセスメント

→身体的拘束を第一にせず代替案がないかカンファレンスを行う

②患者様と対話

→行動理由を探り、説明し協力を得る

③身体的拘束の現状を知りチームで共通の認識を持つ

→身体的拘束が不要となるよう、身体機能の回復に努める

「誰のための安全なのか」
自分たちの行動を振り返り、立ち止まって
みんなで考えていきましょう！
DSTラウンドでは身体抑制で困っていることなど
相談に乗ることができますので各部署のDST委員へ
ご相談下さい！！

DST Drのひとりごと

最近インフルエンザの流行が騒がれていますね。

ウイルス感染後に認知症が進行することはコロナウイルスの時には問題になっていました。

Age and Ageing誌で報告された2025年の論文では、基礎疾患のある認知症高リスク患者ではワクチン接種を2回行くと、発症リスクの低減が示唆されてます。

患者様への情報提供と予防接種をすすめてあげてくださいね。スタッフの皆さんも流行にはお気を付けてください。

